

京 都 大 学

國文學論叢

第 10 号



『萬葉集』の春の花と閨怨詩 …………… 河上 志貴子(一)
—— 卷十「詠花」歌一首の本文批評をめぐって ——

『和泉式部日記』『夜の寢覚』の「道芝」 …………… 菅原 領子(一八)

「聖家族」の方法 …………… 飯島 洋(二八)
—— 現実・虚構・幻影 ——

京都大学文学部国語学国文学研究室蔵『まぼろし草』 …………… 小山 順子(四四)
—— 紹介と翻刻 ——

『精進魚類物語』作者に関する一資料 …………… 柴田 芳成(五二)

『捷解新語』の語彙改訂の方向性 …………… 朴 真完(17)
—— 語種改訂を中心に ——

「講義要綱」における
仮名本語と原語の緩りとの関係について …………… POPESCU Florin(1)



〈編集後記〉

『京都大学国文学論叢』第十号をお届けします。

今号は国語学、古代、中古、近代とバラエティに富んだ誌面となりました。更に本号からは発行月が変更になり、内容としては当研究室所蔵の資料の紹介が加わるようになりました。当研究室にはまだまだ紹介されていない資料が多くあります。

本年六月十五日に日野龍夫先生がご逝去されました。本論叢第一号の記念として最初に論文を執筆して下さったのは日野先生でした。先生が示された学問への志を受け継ぎ、研究室一同励んでゆきたいと考えております。

(阿尾)

平成十五年十月二十五日 印刷
平成十五年十月三十日 発行

編集発行者

千六〇六一八五〇一

京都市左京区吉田本町

京都大学大学院文学研究科国語学
国文学研究室「国文学論叢」編集部

電話 〇七五―七五三―二八二四

印刷者

京都市下京区室町通り仏光寺上る

亜細亜印刷株式会社

※表紙題字『易林本節用集』より

(京都大学文学部藤慶長板)